



『Innovation from Teenagers ～10代からの提言～』

長野県上田染谷丘高等学校1年1組 宮坂真央



この課題に関わるSDGsの番号



つくる責任

つかう責任



12

つくる責任
つかう責任



テーマ設定の理由

日本は他国と比べて多くの資源を消費しているから。

現在私達が使っている資源、エネルギーは地球が作り出せる量の1,5倍とされている。特に先進国である国はより便利な生活を作ろうと多くの資源を制作しては消費している。私は人間がより不自由のない生活を送るために無自覚に地球を壊しているのではないかと考えた。ではなぜ私たち人間は無自覚で地球を壊しているのか？それについて興味が湧いたのでこのテーマを設定した。

現状

代表例としてプラスチックが挙げられる。

プラスチック →加工しやすくとても便利なもの。日本は世界で2番目に多く消費していてその量は未だに増え続けている。特に日本はお菓子などの包装などで一つ一つ個包装にするなど過剰包装することにより様々なメリットがあるがデメリットとして多くのゴミを出してしまう点がある。また、最近では海に多くのプラスチックが流れ込み生物にも影響を与えている。

課題

単純に言ってしまうとそれはとても簡単で難しいことだ。

必要なものは必要な分だけ作ること。

⇒作ったものは無駄なく最後まで使い切ること。

解決策

プラスチックのゴミの量を削減する方法の例として次のようなものが挙げられる。それは、日本人が多く使用する**ペットボトルの使用量を減らすこと**だ。

1日に500mlペットボトルを1本使用するとして、1年間その生活を繰り返すとする。空のペットボトル1本の重さは30gより1人あたり1年間で**約11kgゴミを減らす**ことができる。日本の人口は約1億2600万人より**140万tものゴミを1年間で減らす**ことが可能かもしれない。

解決策は以下の通りだ。

炭酸飲料は各家庭に炭酸メーカーを設置する。 → 美酢などを利用すれば様々な味も楽しめ健康も良くなる。

炭酸水をいつでも飲むことができる。ペットボトルを使用せずに水筒で炭酸飲料を飲めることがポイントだ。暑い夏などには温くなってしまう飲料水でも水筒なら冷たく美味しい温度に保つことができる。

実際に私の家では炭酸メーカーを使用してから ペットボトルを使用する機会がとても減った。

⇒必要なものは必要な分だけ作ることができる。



日本の年間使い捨てプラスチックの排出量は340万tより、もしペットボトルの生産を止めたとしたら200万tにまでゴミを減らすことができる。(約40%削減)

その他にもお菓子の過剰包装をやめるなどの工夫をすれば多くの使い捨てプラスチックを削減することが可能になる。



10代からの提言

私はよく親にこう言われます。「未来の自分に貯金しなさい。」と。これは、今から**少しずつでいいので将来の自分のためにやれることをやる**ということです。SDGsでも未来に貯金するという意識、行動を一人一人が起こせば少しずつではありますが、**資源を大切にすることへと繋がる**と思います。解決策の例として、各家庭に炭酸メーカーを設置するというものを挙げました。これはお金もかかるし管理が大変と思う方も多いとは思いますが、これが一台あるだけで使い捨てプラスチックの量が減ると思えばWin-Winな関係になると思います。管理も難しくありません。なので、**ぜひ皆さんには炭酸メーカーを設置してほしいです。**

感想

SDGsを達成するために解決策を出したり、対策をしたりすることは、やってみて正直とても難しかったです。解決策を提案したとしてもそれを実行することも難しいだろうし、今まで無自覚に地球を壊していた私はとても悔しく情けない気持ちになりました。何事にも気持ちがなければうまく行動に移すことはできません。私のような人間でも、一人ではあってもまずは問題に対して向き合うことが大切なのではないかと思いました。無自覚に地球を壊しているのは私たち人間のどうでもいい、私は関係ないという気持ちが働いているからなのではないかと思います。今回の提言が一人でも多くの人的心里に届いて、少しでも地球を守ろうとする意識や行動を起こしてくれる方がいたら嬉しいです。私自身ももっとSDGsに対して意識を高めていきたいと思っています。ありがとうございました。